

竹田・前山統合小学校のHP

校章・校歌の原案が決定

園教育総務課（山南庁舎内） ☎70・0810

竹田小学校と前山小学校が統合し、令和6年4月に開校する竹田・前山統合小学校の校章デザインと校歌歌詞の原案が決定しました。校章デザインは297点、校歌の歌詞は124点の応募がありました。

◇校章デザイン（案）



■校章の作者／菅野薫さん（山形県在住）

■デザインの趣旨／竹のようにしなやかに強くまっすぐに、礼儀正しく育って欲しいという想いを込めました。左右二本の竹は高谷山や五台山を意味した山の形につなぎ、竹田小と前山小の統合を象徴。二校の和を竹田川と五瀬川を表わす三本の線で表現。三枚の竹の葉は膨らみを持たせた形にして小の字を形成し、優しく健やかな成長を表現。六つの節は学年、放射状の線は子どもたちの明るい未来や希望を象徴しています。

◇校歌歌詞（案）

一 高谷山に あかねさし
あおぐ瞳は 輝いて
希望を胸に 元氣よく
学びの道を 進みゆく
われら竹山小学校

二 清き流れの 竹田川
四季の花々 うるわしく
めぐみの大地 ふみしめて
新たな道を 拓きゆく
われら竹山小学校

三 西をあげば 五台山
大空青く 澄み渡り
高き理想を いだきつつ
平和な郷を 築きゆく
われら竹山小学校

■校歌作詞者／飯田英範さん（新潟県在住）

■歌詞に込められた想い／高谷山、五台山、竹田川など豊かな自然に囲まれた学校で、勉強や運動に励んでほしい。また、先人に感謝し、郷土を愛して、新しい歴史を築いてほしい。さらに、高い理想をもって平和な社会を築いてほしいという願いが込められています。

市長・林時彦 時を駆ける



第27回全国高等学校女子硬式野球選手権大会

第27回全国高等学校女子硬式野球選手権大会は、全国から大会史上最多の58チームが参加し、予選トーナメントを7月22日から兵庫県丹波市および淡路市において行いました。両市の会場から勝ち上がった16チームが「女子高校野球の聖地丹波市」の「つかさグループいちじま球場」に集まり、決勝トーナメントを行いました。「夏の熱い戦い」は、全試合WEB中継され、より多くの皆様に女子高校野球の魅力と感動をお伝えすることができ、一層の盛り上がりのある大会となりました。

今大会の決勝戦におきましては、各関係団体様、各企業様のお力添えにより、高校球児のあこがれの舞台「阪神甲子園球場」で、三度目の開催となりました。多くの観客の皆様と中継をご覧の皆様のもとで、盛大に開催できましたことは、大会長であ

る私だけでなく、選手の皆様、関係者の皆様にとってもこの上ない喜びであります。

優勝は、神戸弘陵学園高等学校、準優勝は、岐阜第一高等学校でしたが、両校ともに、初戦から決勝戦に至るまで、いくつもの好プレーや固い絆を見せていただき、見る者に勇気と感動を与えてくれました。また、この大会に出場された全てのチームの選手、監督、コーチ、学校関係者の皆様のご健闘に心から敬意と感謝を申し上げます。さらには、応援団や観客の皆様、熱い声援をありがとうございました。

丹波市は、全日本女子野球連盟から「女子野球タウン」の認定を受けています。今後も女子野球の発展に微力ながら貢献して参ります。来年の夏も女子高校野球の聖地である丹波市で、女子高校球児の皆様の元氣あふれるすがすがしいプレーが繰り広げられることを期待します。

丹波市長 林 時彦